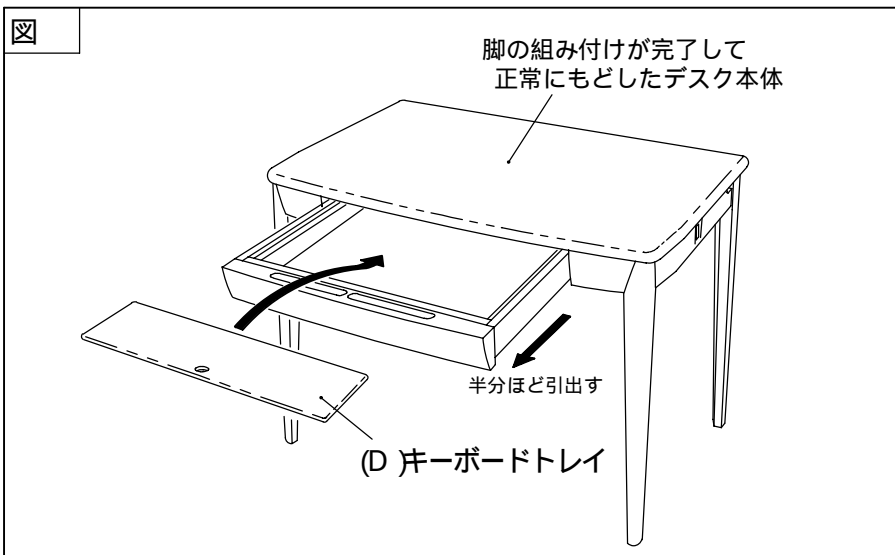
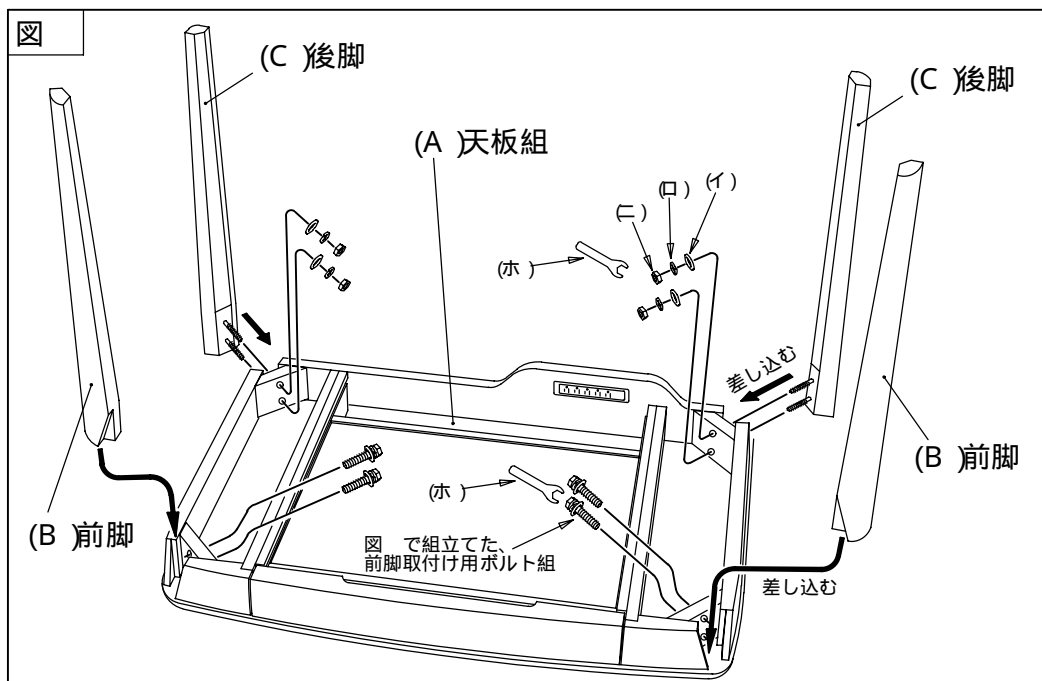
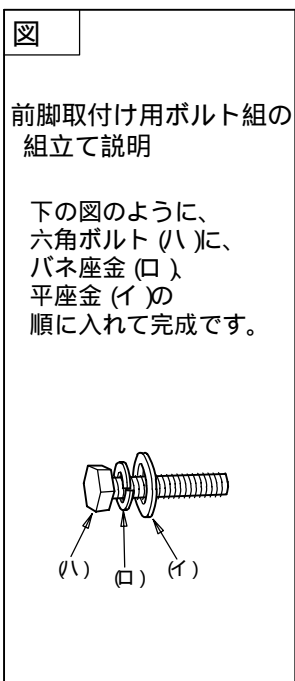


# 《組立説明書》

No.7133

1. 部品表により、部品数の確認をして下さい。  
組立作業や商品の移動は二人以上でおこなってください。
2. 天板組 (A) を平らな場所に、裏面を上にして置いて下さい。  
この際、天板組 (A) にキズがつかない様に、何かやわらかい物をさはむか、カーペットの上、等が良いでしょう。
3. 図 参照して、『前脚取付け用ボルト組』を 4 セット作ってください。
4. 図 参照して、前脚を取り付けてください。  
・天板組 (A) の前脚取付け位置に、前脚 (B) を差し込むようにセットしてください。  
次に 天板組 (A) の前脚取付けボルト差込孔に、図 で組立てておいた『前脚取付け用ボルト組』を差し込み、板スパナ (ホ) でしっかりと締め付けてください。
5. 図 参照して、後脚を取り付けてください。  
・天板組 (A) の後脚取付け穴に、後脚 (C) のボルトを差込み、平座金 (イ)、パネ座金 (ロ) の順に入れて六角ナット (ニ) を回し入れ、板スパナ (ホ) でしっかりと締め付けてください。
6. 組立作業が完了しましたら、正常にもどして下さい。 この時、引出しが飛びださないように ご注意ください。
7. 図 参照して、キーボードトレイ (D) をセットしてください。引出しを納めて、組立作業完了です。
8. 定期的に点検して、緩みはじめているボルト類は増し締めしてください。  
そのため、板スパナ (ホ) は捨てないで保管しておいてください。



| 部 品 表        |    |
|--------------|----|
| 部品名          | 数量 |
| (A) 天板組      | 1  |
| (B) 前脚       | 2  |
| (C) 後脚       | 2  |
| (D) キーボードトレイ | 1  |
| <hr/>        |    |
| (イ) 平座金      | 8  |
| (ロ) パネ座金     | 8  |
| (ハ) 六角ボルト    | 4  |
| (ニ) 六角ナット    | 4  |
| (ホ) 板スパナ     | 1  |

# 組立説明書

№ 7134  
№ 7135  
№ 7136  
№ 7140

1. 部品表により、部品数の確認をして下さい。
2. 図1のように天板組 (A) から 引出しを取り出して下さい。
3. 天板組 (A) を平らな場所に、裏面を上にして置いてください。  
この際、天板組にキズがつかないように、何か柔らかいものをはさむか、カーペットの上、等が良いでしょう。
4. 図2のように 天板組 (A) に 脚組 (C) をボルト (E) で仮止めして下さい。  
この際、バックパネルが取付けにくくなるので ボルトの締め過ぎに注意して下さい。
5. 左右の脚組 (C) の間に バックパネル (D) を案内ダボの位置に従って取付けます。  
この際、拡大図 のように 茶色い樹脂を取付けてある面を後側に、丸い縁が天板側になるよう注意して下さい。  
バックパネル (D) が落ちないように、脚組 (C) を内側に押さえながらバックパネル用ビス (F) をねじ込みます。  
この際、拡大図 のようにバックパネル用ビス (F) を 樹脂内部に一旦押し込みます。次に拡大図 のように  
ドライバーをななめにした状態で締め込んで下さい。締め込んでいくと 徐々にバックパネル用ビス (F) の  
角度が変わっていきます。脚組 (C) に対してバックパネル用ビス (F) が垂直になるまでしっかりと締め込んで下さい。
6. 拡大図 のようにキャップ (G) を嵌め込んで下さい。デスクを起こして引出しを差し込み、キーボードトレイ (B) を引出し内にセットすれば完成です。

部品表

| 部 品 名       | 数 量 | 部 品 名        | 数 量 |
|-------------|-----|--------------|-----|
| (A)天板組      | 1   | (E)ボルト       | 8   |
| (B)キーボードトレイ | 2   | (F)バックパネル用ビス | 4   |
| (C)脚組       | 2   | (G)キャップ      | 4   |
| (D)バックパネル   | 1   |              |     |

拡大図

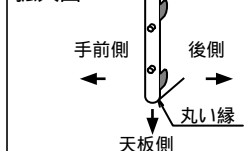
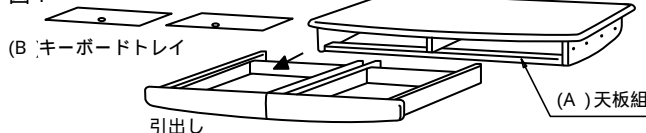


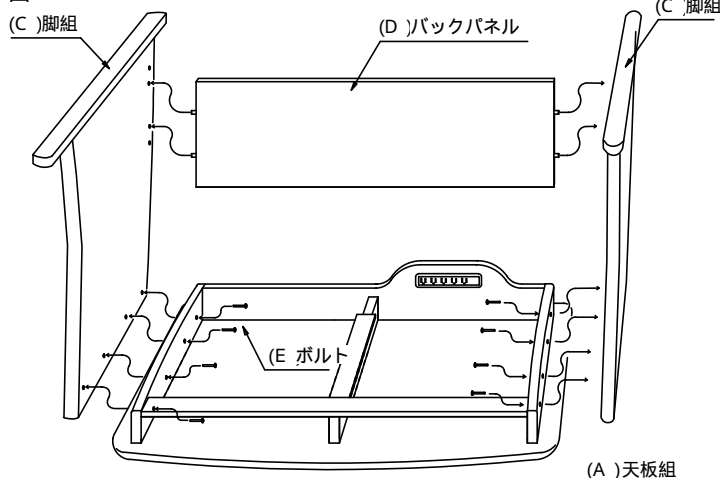
図 1



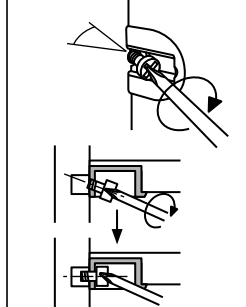
拡大図



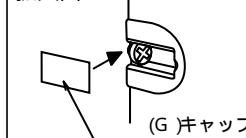
図 2



拡大図



拡大図



必ず2人以上で組み立て作業を行なって下さい。

デスクをおこす際、床に強くあてないようご注意ください。床をキズつけたり、グラツキの原因にもなります。

デスクの上には絶対に乗らないでください。破損の原因になります。

ご使用中、ボルトが緩むことがあります。定期的に各部位を点検し増し締めを行なって下さい。